

気づいてからでは遅い

脳疾患

脳梗塞

脳内出血

くも膜下
出血

後遺症による 障害から見た脳卒中

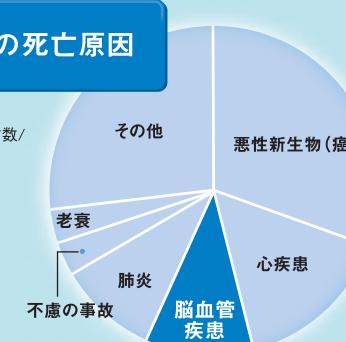
要介護(寝たきりを含む)
になった主な原因

※平成22年
国民生活基礎調査の概況/
厚生労働省



日本人の死亡原因

※平成21年
主な死因別死亡数/
厚生労働省



こんな人は検診を…

- 高血圧・糖尿病・肥満の人
- 家族に脳卒中になった人がいる

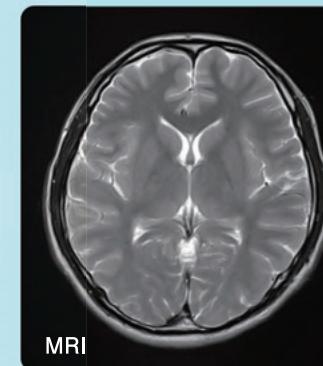
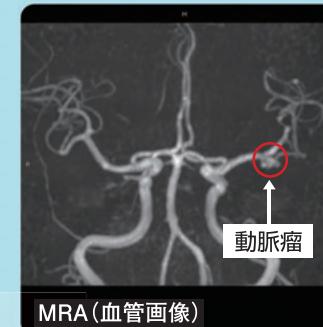
“がん” “心臓病” そして “脳卒中(脳血管障害)” は、常に日本人の死因の上位を占めています。中でも脳卒中は、はっきりとした自覚症状がなく、何の前触れもなしに突然発症する病気です。時には、生命予後に影響することもあり、手足の麻痺や寝たきり・失語症・認知症などの後遺症で家族の介護や治療費と多大な負担がかかる事も事実です。その原因には生活習慣病が大きく関係し、特に中高年の方は、発症の確率が高いと言えます。

大野記念病院 年間脳ドックの 受診者数

平成22年度 1,953件

平成23年度 1,639件

平成24年度 1,718件



大野記念病院の脳ドックでは、MRIなどの検査機器を駆使して、様々な角度から脳や脳血管の状態をチェックします。

万一、異常や病変が発見された場合には、速やかな連携で適切な医療を行います。



■ A・Bコース

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| • 頭部MRI | • 頭部MRA | • 頸部超音波 |
| • 問診 | • 血圧測定 | • 身体計測 |
| • ABI(血圧脈波) | • 胸部X線検査 | • 心電図検査(安静時) |
| • 尿検査 | • 血液検査 | |

■ C・Dコース

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| • 頭部MRI | • 頭部MRA | • 頸部超音波 |
| • 問診 | • 血圧測定 | • 身体計測 |
| | | • 医師による結果説明 |

注意 MRI検査が施行できない場合があります

※ベースメーカーなどの電子装置や人工関節等の金属が体内にある方。
※刺青・眉墨のある方。
※閉所恐怖症のある方。
詳しくはお問い合わせください。

物忘れスクリーニング 検査のご案内

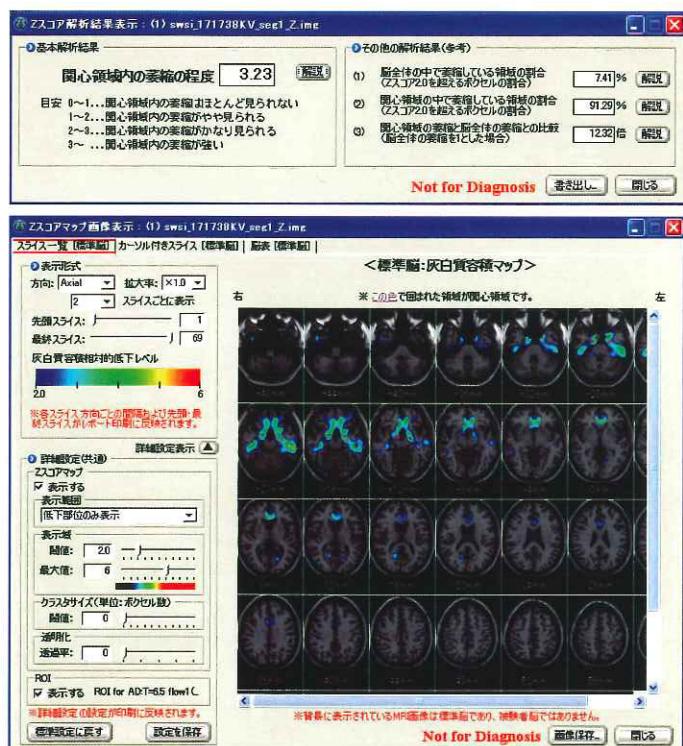
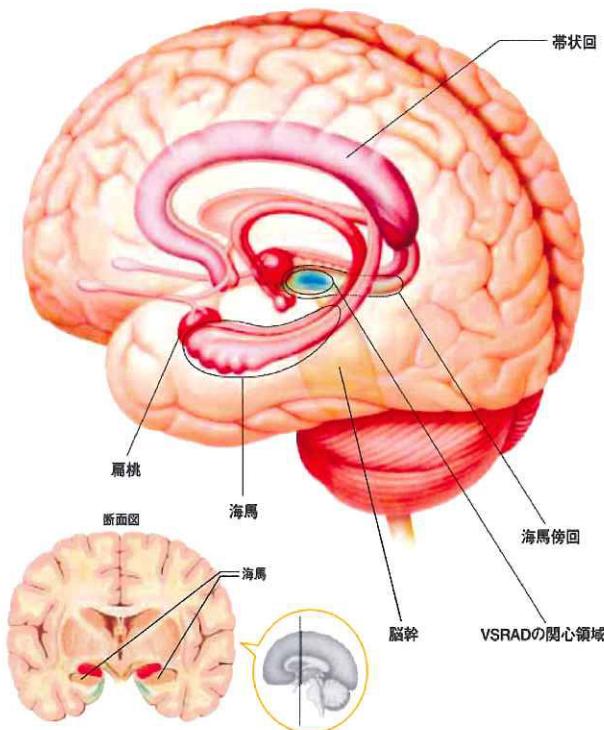
脳ドック/オプション

このような方は
要注意

- 同じことを言ったり聞いたりする。
- 物の名前が出てこなくなつた。
- 置き忘れやしまい忘れが増えた。
- 以前はあった関心や興味が失われた。

アルツハイマー型認知症では脳の萎縮が早い時期に起こることが知られています。しかし一般的のMRI検査だけで、脳の萎縮を確認することはたいへん難しいとされています。

MRIを用いたVSRAD(ブイエスラド)という検査では、記憶をつかさどる部位がどの程度萎縮しているかを色と数値で確認することができます。当院の脳ドックオプションで、このVSRADの検査ができます。



認知症の診断は臨床症状・認知機能検査(MMSE)・画像診断を総合して行います。VSRADで高い数値が出たことで、それですぐに「認知症」と診断されるものではありません。詳細は担当医師にご確認ください。

物忘れスクリーニング検査費用 8,400円(消費税込み)

※55歳から86歳が対象となります。